
少年少女発明クラブ

〈畑中公民館〉

○開設の趣旨 昭和63年に発明協会の承認を得て発足した新座市少年少女発明クラブの会員による年間を通じての活動日で、内容は科学的な興味と関心を探求できる工作活動を主に毎月1回、テーマを決めて実施した。

○期間 平成29年4月8日～平成30年3月3日 各土曜日（計14回）
（計31.5時間）

○対象・定員 市内在住の小学生・20人

○参加者 18人 参加延べ人数 187人

○講師 発明クラブ指導員 横山 仁 外8人

○事業内容

回	月 日	時 間	内 容
1	4月 8日(土)	午前10時～正午	開講式・オリエンテーション
2	5月13日(土)	午前10時～正午	基礎学習(道具の使い方)
3	6月10日(土)	午前10時～正午	基礎学習(道具の使い方と踏み台づくりI)
4	6月17日(土)	午前10時～正午	踏み台づくりII
5	7月 8日(土)	午前10時～正午	ペットボトル風車作り
6	7月22日(土)	午前10時～正午 午後2時～ 午後3時30分	ペットボトルロケット
7	8月 5日(土)	午前10時～ 午後3時	モーターを使った工作
8	9月 9日(土)	午前10時～正午	LED工作
9	10月14日(土)	午前10時～正午	ストローヘリコプター作り
10	11月11日(土)	午前10時～正午	ペン立てづくり
11	12月16日(土)	午前10時～正午	クリスマスケーキ作り
12	1月13日(土)	午前10時～正午	動力で飛ぶ鳥
13	2月10日(土)	午前10時～正午	パソコン講座アルゴリズム入門
14	3月 3日(土)	午前10時～11時	閉講式

○ま と め

4月の開講から3月の閉講まで全14回にわたり、毎月1回のペースで毎回異なるテーマで講座を実施した。カッターを使った紙細工に始まり、のこぎり、かなづち、ドリル等を使った木工作、ペットボトルを使った風車、ロケット及びヘリコプターの作品作り、またモーターを使った動く工作物の製作、LEDを使った工作を行った。様々な工作物の製作を通じてその難しさや原理原則を学ぶとともに、創造性の向上に資することができたのではない。

絵本とおはなしクラブ

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 幼児や小学生を対象に季節に合わせた読み聞かせや紙芝居、手遊びを行い、読書の楽しさを伝える。
- 期間 ①平成29年7月1日、②12月2日の土曜日 (計2回)
- 時間 ①午前10時～11時②午前10時～11時30分 (計2.5時間)
- 対象・定員 市内在住の幼児から小学生までの子どもと保護者・20人
- 参加者 18人 参加延べ人数 22人
- 講師 読み聞かせボランティアグループ絵本の会「四季」
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	7月 1日(土)	○おはなし会と七夕かざり作り 大型紙芝居「たべられたやまんば」 大型絵本「たなばたバス」「999ひきのきょうだいのひっこし」、 紙芝居「のーびたのびた」歌「たなばた」、手遊び、七夕の笹飾り作り
2	12月2日(土)	○クリスマスのおはなし会 大型紙芝居「おおきくおおきくおおきくなーれ」、大型絵本「まどから・おくりもの」 「にじいろのしまうま」「トーマスキャクしゃをひく」、クリスマスソング、折紙でリース作り

○ま と め

今年度は2回講座を開催した。2回とも絵本の会「四季」に単独で講師を依頼した。

1回目は事前申込み6組16人、当日参加2人の計28人が参加した。前半読み聞かせ、後半笹飾り作りだったが、笹飾り作りに時間がかかり20分位延長した。館で用意した笹に飾り付け、皆さん喜んで持ち帰った。

2回目は事前申込み2組4人だったが当日1組2人がキャンセル、当日参加1組2人があり、結局2組4人で実施した。オープニングで職員がサンタクロースに扮して登場し、場を盛り上げた。子どもたちはとても喜んでいた。

「四季」の皆さんの練習に当公民館を利用してもらい、参加者の増加を図ったが、日常的に子どもの来館の少ない館であるために、周知はなかなか難しい。

サマースクール

～偏光板で光の仕組みを知ろう～

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 夏休みの1日を利用して、工作を通し科学に興味をもたせる。
- 期 間 平成29年8月19日(土)
- 時 間 午後1時30分～午後3時30分 (計2時間)
- 対象・定員 市内在住の小学4年～6年生・16人
- 参加者 16人
- 講師 NPO法人科学芸術学際研究所 I S T A 原田 新一郎
- 参加費 100円(材料費)
- 事業内容 偏光板を使って光の仕組みを知る。
- まとめ

光が屈折する性質と、偏光板(光の向きによって光を通したり、遮断する性質を持つシート)の特性を利用して、同じものを見ても見る角度によって色が変わるということを学習した。

まず、紙コップの底に穴をあけ、穴に偏光板を貼ったものと、セロテープを切って重ね貼りしたものをそれぞれに作り、この紙コップを通して液晶画面や光を強く反射するビニール袋などを観察し、肉眼で見る時とは異なる色に物が見えることを観察した。

このコップを通して物を見ると、まるでステンドグラスが輝いているかのように見えた。

初めの内は、どのように物が見えるかわからないままコップを作っている子どもたちであったが、講座が終わる頃には会場内に歓声が上がっていた。

子ども食育科学講座

～子どもでもできる！簡単おせち作り～

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 おせち作りを通して科学的に「食」を学ぶとともに、「日本文化」や「料理の楽しさ」を子どもたちに知ってもらう。
- 期 間 平成29年12月9日（土）
- 時 間 午前10時～午後1時（3時間）
- 対象・定員 市内在住の小学生・16人
- 参加者 15人
- 講師 キッチンの科学プロジェクト（KKP）代表 金子 浩子
※アシスタント3人
- 参加費 実習材料費 1,000円
- 事業内容 おせち料理（・栗きんとん・田作り・紅白なます・伊達巻・みかん大福・お雑煮）を作り、食と科学のつながりについても学ぶ。
- ま と め

16人の募集だったが、なかなか集まらずやっと15人となった。費用は事前徴収ということで、電話申込後に期限までに納めに来てもらった。

同学年が固まらないよう参加者15人を4グループに分けた。けがもなく最後まで調理できて良かったと思う。

子ども食育科学講座ということで、おせちや個々の料理の由来についての説明、和食の基本としての「だし」や酢の効能についてなど、子どもたちが理解しやすいよう工夫した教え方だった。鰹節を削ったり、だしを取った後の昆布を食べてみたり、普段したことのないような体験を取り入れながら、調理に取り組んだ。綿密なタイムテーブルに従って、6品の料理に取り組んだが、やはり時間がかかり終了時刻が13時20分頃になってしまった。また、片付けには手がまわらず、講座修了後に大人6人で片付け結局すべて終了したのは15時過ぎだった。子どもたちは、楽しく料理に取り組み、満足した様子だった。

なお、J:COMより取材依頼があり、講座中撮影があった。保護者には電話で事前連絡して確認した。

茶の湯の歴史

～「侘び茶」・利休への道程～

〈畑中公民館〉

○開設の趣旨 時代と共に変遷してゆく茶の湯の歴史について学ぶ。

○期間 平成29年6月9日～6月30日までの毎週金曜日
(計4回)

○時間 午前10時～正午 (計8時間)

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・50人

○参加者 50人 参加延べ人数172人

○講師 元玉川学園女子短期大学教授 小澤 富夫

○事業内容

回	月日	内容
1	6月9日(金)	千利休が死に至るまでの背景を茶の湯の歴史をひもときながら考察する。
2	6月16日(金)	
3	6月23日(金)	
4	6月30日(金)	

○まとめ

今回の講座は、全4回で実施し、「秀吉と利休の相剋」～茶会とその表と裏を探る～と題した講師作成のレジュメを使用し講義を進めた。

豊臣秀吉と千利休が表と裏でどのような関係にあったかを、レジュメの中の古文書を読みながら丁寧にひもといた。

小澤講師の講座は、本市他公民館でも実施していることから、リピーターが多数いた。そのため、なごやかな雰囲気の中で講座が展開され、次回も同講師の講義を聞きたいという声が多数あった。

その人を知ろう

～「北条政子」中世女性政治家の生涯～

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 鎌倉幕府を動かした北条政子の素顔を追いながら、中世における武家の女性の生き方や世界観を考察する。
- 期間 平成30年2月20日・27日（火）（計2回）
- 時間 午後1時30分～午後3時30分（計4時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・50人
- 参加者 47人 参加述べ人数78人
- 講師 国文学研究者 棚木 恵子
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	2月20日（火）	土豪の娘から将軍家御台所へ
2	2月27日（火）	尼将軍政子の政治力

- ま と め

今回の講座はある人物に焦点を当て、その人物がどういう生き方をしたかを追うという趣旨で企画した。

講師と協議した結果、女性政治家が注目を集めている時期であることから、「北条政子」を取り入れてはどうかということになり、企画が固まった。

人物考察の講座といえば、歴史と密接な関係があることから比較的歴史に興味を持つ男性受講生の割合が、他の講座に比べて高かった。

1回目に「北条政子」が政治に参加するまでの歩みを中心に話が進み、2回目はどのように政治を動かしたかに焦点を当てた講義であった。

講座が2回で完結するため時間的制約があり、駆け足で講義が進んだ。

今後は、このような講座は2回ではなく、3～4回の日程で組んだ方がよいと感じた。

蕎麦打ち講座

～新そばを打って、旬を味わう～

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 新そば粉収穫時期に合わせたそば打ちの体験を通し、地域住民の交流と畑中公民館サークルの育成を図る。
- 期 間 平成29年10月21日(土)
- 時 間 午後1時～3時30分 (計2.5時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・15人
- 参加者 15人
- 講師 新座手打ち蕎麦同趣会
- 参加費 実習材料費 1,000円
- 事業内容 講師陣によるデモンストレーションの後に実習を行い、試食する。
- まとめ

毎年恒例となっている公民館サークルの方が講師となって行うそば打ち講座である。3人ずつ5グループを作り、各グループに講師1人がつき、丁寧に分かり易く指導した。講師は手慣れているので時間も予定通りで、参加者も大いに満足できたようだった。蕎麦のお土産つきで、それにも大喜びだった。

キャンセルが4人あり、キャンセル待ちは3人だったため、当初14人で実施予定だったが、当日になって参加申込者がいたため参加してもらい予定通り15人で実施できた。申込者が減ってきていると感じる。

すくすく学級～笑顔で子育て～

〈畑中公民館〉

○開設の趣旨 2～3歳の幼児と保護者を対象に子育てについて多方面から学ぶとともに仲間作りを目指す。

○期間 平成29年11月8日～11月29日までの毎週水曜日（計4回）

○時間 午前10時～正午（計8時間）

○対象・定員 市内在住の2～3歳児と保護者・15組

○参加者 10組20人 参加延べ人数63人

○保育 10人

○参加費 実習材料費 800円（3回500円、4回300円）

○事業内容

回	月 日	内 容	講 師
1	11月 8日（水）	親子でパーカッションとリトミック	リトミックインストラクター RINDA☆
2	11月15日（水）	お母さんカアップセミナー ～自分を満たして、楽しむ子育て～	タッチライフアドバイザー 長山 幸恵
3	11月22日（水）	紙バンドのかご作り	クラフトバンド認定講師 奥村 ひろ美
4	11月29日（水）	おやつ作り 「野菜でポンデケーキ」	管理栄養士 鈴木 香

○ま と め

募集開始からなかなか集まらず、結局10組の参加だった。

第1回では、講師が珍しい楽器を色々用意してくれ、親子で興味をもち参加してくれた。第2回では、自己肯定感を持つ事の大切さや持ち方について、ワークを通じて学んだ。2グループに分かれて、グループ内でフリートークの時間もあったが緊張がほぐれず少し堅い雰囲気だった。第3回では作業に集中する貴重な時間を体験し、出来上がったかわいかごに大満足の様子だった。2時間という限られた時間なので、講師にあらかじめ準備してもらったおかげで時間に余裕ができた。第4回は発酵なしに手軽にできるモチモチパンを作った。時間的に余裕があり、お母さんたちも話がはずんでいた。少ない人数ではあったが、お互い知り合うには手頃な人数だと思える。講師の方々も親切で温かく接してください、和やかな雰囲気での実施できた。

さわやかプラバンブローチ作り

〈畑中公民館〉

○開設の趣旨 プラバンでお気に入りの色や模様を組み合わせ、自分だけのアクセサリーを作って楽しむ。

○期間 平成29年9月7日、14日の木曜日 (計2回)

○時間 午前10時～正午 (計4時間)

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人

○参加者 13人 参加延べ人数 24人

○保育 1人

○講師 アートエデュケーター 菖蒲澤 侑

○事業内容

回	月 日	内 容
1	9月 7日 (木)	アクセサリーのパーツ作り
2	9月14日 (木)	金具とパーツを組み合わせアクセサリー作り

○ま と め

保育付き講座として企画募集したが、希望者は1歳10か月の男児1人のみで、保育サポーターを1人に変更した。

1回目は講師が用意したパターンを使って丸や猫などの形に模様や色付けをした。始めはおそるおそる取り組んでいた人も、だんだん慣れて楽しく作成していた。慣れている人もいて、持参した本やスマートフォンを使ってパーツ作りに取り組んでいた。

2回目は、1回目に作ったパーツや、新しく作ったパーツに金具をつけて、ブローチやキーホルダー、イヤリングなどに仕上げた。お互いの作品を見比べて意見を出し合い交流し、自分の作品の参考にしていた。参加者の年代に幅があったが、良い雰囲気学び合えた。

諸子百家～易経に学ぶ～

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 古代中国の書「易経」を読み、先人の思想を学び、現代社会にどう生かすかを考察する。
- 期間 平成29年11月7日～28日までの毎週火曜日（計4回）
- 時間 午前10時～正午（計8時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・50人
- 参加者 48人 参加延べ人数153人
- 講師 学習院大学講師 林 東洋
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	11月 7日（火）	古代中国の書「易経」を4回にわたり深く読込み、文脈の解説と解釈、その考察を行う。
2	11月14日（火）	
3	11月21日（火）	
4	11月28日（火）	

○ま と め

中国古代思想の書「易経」について、講師が用意した古文書にて陰と陽という概念を基に解説してくれた。

かなり難度の高い文献であり受講生の多くが苦笑する場面も見られた。

「易経」の根底には、出すぎずに謙虚に振舞うという考え方があるようで、現代に通じるところとそうでない両面があり、学ぶところが大きかった。

普段、触れることのない作品を学び、貴重な学習であった。

歌舞伎講座

～そこが知りたい！歌舞伎の魅力～

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 伝統文化である歌舞伎について、歴史や代表作品、楽しく鑑賞するコツなどを学び、その魅力を知る。
- 期間 平成30年2月14日～28日の毎週水曜日（計3回）
- 時間 午前10時～正午（計6時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・50人
- 参加者 51人 参加延べ人数 129人
- 講師 清泉女子大学講師 武藤 純子
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	2月14日（水）	高麗屋三代襲名～松本幸四郎の家と芸
2	2月21日（水）	楽しい芝居・華やかな芝居
3	2月28日（水）	歌舞伎400年の歴史と代表作品

○ま と め

今年に入り、松本幸四郎一門（高麗屋）で襲名披露があったので、これを中心に取り上げ、外の役者も含め、その芸風や得意とする演目など、映像を交え紹介した。

毎回前半は講義をし、後半では解説のあった作品を放映し、詳細な解説を交えるという手法で講座が展開された。

また、芝居には楽しいものと悲しい内容のものがあり、能や浄瑠璃からも大きな影響を受けているということを講師が詳しく解説してくれた。

歌舞伎では、役者が自分にあっているかいなかという好みにより、楽しさに大きく関係するそうである。

受講生はこうした話を通し、深く芝居に興味を持ったようである。

絵画の世界を知ろう

～洋画鑑賞の楽しみ方～

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 近代美術を中心に歴史を交え、絵画を楽しむコツを紹介する。
- 期間 平成29年12月1日・8日の金曜日（計2回）
- 時間 午前10時～正午（計4時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・50人
- 参加者 28人 参加述べ人数 43人
- 講師 埼玉県立近代美術館 菖蒲澤 侑
- 事業内容

回	月日	内容
1	12月1日（金）	美術史講座～近代美術から現代アートへ～
2	12月8日（金）	鑑賞講座～モネからピカソへ～

○まとめ

絵画を見ても、なかなか画家の意図することまでを十分理解するのは難しい。

今回はどのような知識を持てば、より絵画の意図を理解できるかを、講師が映像を交えながら解説してくれた。

大切なことは、絵を見て、今その中で何が起きているのか、そしてそれはどうして起こったのかというストーリーを考えることだそうである。

また、時代により絵画の作風も変わってきたことを知った。印象派の絵は初めのうちは作品としては認められなかったそうであるが、だんだんに理解され、その地位を確立したことを知った。

絵画鑑賞講座は根強い人気があり、今後どのように講座設定をするか思案するところである。

手作りおせちにチャレンジ

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 お正月を前に伝統的なおせちから洋風おせちまでを学び、家庭で役立つ。
てる。
- 期間 平成29年12月6日、13日の水曜日
- 時間 午前10時～午後1時（6時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・16人
- 参加者 16人 参加述べ人数32人
- 保育 3人
- 講師 管理栄養士 鈴木 香
- 参加費 実習材料費 2,000円
- 事業内容 伝統的なおせち（たたきごぼう、末広のしどり、菊花かぶ、煮しめ、飾り切り技法）、洋風おせち（野菜のピクルス、キャロットラペ、鶏ハム粒マスタード添え、蟹とほうれん草のキッシュ、海老のテルミドール）を作る。

○まとめ

申込開始日の朝8時過ぎから来館し待っている人が4人いた。また電話申込みも殺到し、初日でほぼ定員となった。2回連続講座なので、2回とも出席できる人に限り、費用の2千円事前徴収で、申込日から2週間以内に窓口持参とした。キャンセル待ちの申込みを5人で打ち切ったが、それ以上のキャンセルが出たので、10人ぐらいキャンセル待ちを採るべきだった。

講座の内容は、1回目和風おせち、2回目洋風おせちと講師の企画が魅力的で皆さんとても満足していた。また、盛りつけが大切ということで、ランチヨンマットや箸置きなどを手作りで用意して下さり、雰囲気が大いに盛り上がった。

2回目開始早々、体調不良で1人退席し、また包丁で指を切った方は途中 病院へ行くとのことで退席した。包丁の扱いなど怪我につながるようなことに十分注意を喚起していきたい。

クリーニングの基礎知識

～プロが伝授！クリーニングのあれこれ～

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 クリーニングの基礎知識を学び、日々の生活に役立てる。
- 期 間 平成30年1月24日(水)
- 時 間 午前10時～11時30分 (計1.5時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者 17人
- 講師 (株)白洋舎クリーニング事業部消費生活アドバイザー
谷村 和美
- 事業内容 ・クリーニングについて
 - ①クリーニングの種類と特徴
 - ②取扱表示の意味
 - ③ドライクリーニングと水洗い
 - ・家庭でできる冬物衣類のお手入れ方法
 - ①おしゃれ着のお手入れ
 - ②家庭で洗えない衣類のお手入れ方法
 - ③においが気になる衣類の応急措置
 - ④シミの応急処置

○ま と め

前々日の降雪のせいで欠席が増えるのではないかと懸念していたが、欠席は3人で出席率が良くてよかった。

始めに「クリーニングについて」ということで、クリーニングの種類と特徴、取扱表示の意味、ドライクリーニングと水洗いとの違いを説明してくれた。ドライクリーニング液と水にトイレットペーパーを入れて比較する簡単な実験をしたが、その違いが如実にわかりドライクリーニングとはどういうものかが良くわかった。後半では「家庭でできる冬物衣類のお手入れ方法」ということで、おしゃれ着の手洗い、家庭で洗えない衣類のお手入れ方法、においが気になる衣類の応急処置、シミの応急処置について説明してくれた。シミの応急処置体験ということで、醤油のシミぬきの応急処置の方法について全員で体験した。実生活で役立つ体験だった。

最後の質疑応答では、あらかじめ質問したい内容を考えてきていた人たちがいて、関心の高さが伺えた。生活に役立つ内容の講座となり、参加者も満足したことが感想からもわかった。

おし花美術教室

～自然をそのまま額縁の中に～

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 畑中公民館利用団体の会員を講師に迎えて、社会教育団体の育成を図るとともに、生涯学習を始める機会作りを行う。
- 期間 平成30年2月8日・15日、3月1日・15日・29日の木曜日
(計5回)
- 時間 午前10時～正午 (計10時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者 17人 延べ参加人数79人
- 講師 おしば美術師範 星川千香 アシスタント3人
- 参加費 材料費 1,500円
- 事業内容

回	月 日	項 目	内 容
1	2月 8日 (木)	体験	押した花材(講師が提供)を色紙に貼り作品に仕上げる体験をする。
2	2月15日 (木)	押し方	花材(生花)を使って押し方を学ぶ。
3	3月 1日 (木)	押し方、貼り方 及び仕上げ	前回、「押し」をして乾燥させた花材の色紙への貼り方を学ぶ。
4	3月15日 (木)		次回用に花材(生花)を使って押し方を学ぶ。
5	3月29日 (木)	貼り方及び仕上げ	前回、「押し」をして乾燥させた花材の色紙への貼り方を学び、作品に仕上げるとともに、残った花材で小物を作る。

○ま と め

教材として、押し板、ゴムバンド、花・野菜材料、色紙4枚を用意してもらったが、材料費が一人当たり1,630円かかり、講師に負担をかけた。

参加者17人とも、熱心で、家での作業も頑張ってきていた。「押し方」は3回、「貼り方」は4回と繰り返し作業したことで参加者も分かりやすかったのではないかと思う。回数の多い講座は欠席が心配だったが、欠席は少なかった。毎週作品ができて持ち帰れたということで、参加者は非常に満足していた。アシスタントのおしば会サークルの方が準備等てきぱきとすすめてくれた。参加者の一人が、後日サークルに入会したということで、サークルの育成にも役立てたと思う。

楽しく学ぼう漢字の歴史 ～甲骨文字から国字まで～

〈畑中公民館〉

○開設の趣旨 甲骨文字から3000年以上の歴史を誇る漢字の歴史や成り立ち、国字などについて学び、漢字の知識を深める。

○期間 平成30年3月2日～3月16日までの毎週金曜日（計3回）

○時間 午前10時～正午（計6時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・50人

○参加者 33人 参加延べ人数 67人

○講師 漢字教育士 柴田 孝夫

○事業内容

回	月 日	内 容
1	3月2日（金）	漢字はいつ、どこでどのようにして誕生したのか。
2	3月9日（金）	漢和辞典で素朴な漢字の疑問を解決しよう。
3	3月16日（金）	国字の歴史を学び、創作漢字を作ってみよう。

○ま と め

漢字に興味を持っている人が多くいることがわかった。予定していた50人は集まらなかったが、参加者は熱心に取り組んでいた。ただ、33人受講予定のところ毎回欠席者が10人ほどいたのが残念だった。講義中に掲示した資料は、手作りの紙芝居や年表でやや小さめだったので、人数的には良かった。

参加者の名前の1文字について成り立ちを調べ、きれいな和紙に書いたものを参加者一人一人にプレゼントしてくれたので、皆さん非常に喜んでいました。

1回目は、漢字の誕生ということで中国の歴史に触れながら、わかりやすく講義してくれた。2回目には漢和辞典を使って課題について調べる活動もあった。3回目は創作漢字についての説明と読み解き等楽しい内容だった。

漢字の奥深さを知りますます興味が湧いてきたという参加者の声が多かった。さらに学びたい内容についても、いくつか挙がり今後の参考としたい。

親子ピザ教室

～おいしいピザを作って食べよう～

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 ピザ作りを親子で体験し、手作りの楽しさ、大切さを学ぶとともに、
 公民館実習室の活用を図る。
- 期 間 平成29年7月15日（土）
- 時 間 午前10時～午後1時（計3時間）
- 対象・定員 市内在住の小学生親子 計20人
- 参加者 6組14人
- 講師 管理栄養士 鳴嶋 廣美
- 参加費 実習材料費 一人500円
- 事業内容 親子でピザを作って食べる。
- ま と め

順調に申込みがあったがキャンセルが相次ぎ、6組14人で実施した。余った材料は講師が引き取ってくれたが、今後材料費の集金方法は事前支払いを考えていきたい。

強力粉と薄力粉の違いや見分け方の話やピザソースの作り方など低学年にも分かり易く説明してくれ、スムーズに作業できた。

ピザを試食中に講師が準備してきた材料でアイスクリームを作ってくれ、デザートにいただいた。冷凍したバナナとパイナップルに生クリームを入れフードプロセッサーで攪拌してできあがる手軽なアイスクリームで、家庭でも簡単にできそうであった。「苦手な野菜を食べられたので手作りの良さを感じた。」「家でもやってみたい」など感想が寄せられ、有意義な講座となった。

人権学習

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 日常生活における差別や偏見について考え、意識を持っていくことを目的とする。
- 期 間 平成29年11月18日(土)
- 時 間 午前10時30分～11時 (計30分)
- 対象・定員 公民館サークルの代表
- 参加者 36人
- 事業内容 利用者懇談会の中で、ビデオ視聴により人権問題について学ぶ。
- まとめ

利用者懇談会の会議終了後に毎年実施しているもので、今年度はDVD「マララー教育を求めて闘う少女」を視聴した。

イスラム社会における女子教育の必要性を訴えて活動していたパキスタンの少女マララ・ユスフザイは、タリバンの標的となり銃撃された。治療のためパキスタンから英国に緊急搬送され、奇跡的に回復した。現在は英国に住み、女子教育のための活動を続けている。

マララは危険な目に遭いながらもなぜ世界に訴え続けるのだろうか。教育を受ける権利とはなにか。

マララ自らの言葉で語るインタビューや今までの活動の映像から、彼女の信念と素顔を見る。そして教育を受ける価値について改めて問う。

ニューイヤーコンサート

～ブラスの響きを楽しみませんか～

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 公民館サークルの活動支援を兼ねて新春の時期にコンサートを開催する。
- 期間 平成30年1月21日(日)
- 時間 開場午後1時 開演1時30分～3時(計1.5時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・100人
- 参加者 56人
- 演奏者 公民館サークル 新座ウインドオーケストラモッコ
- 事業内容 ひよっこりひょうたん島、手あそびうたメドレー、グレンミラー・メドレー、(楽器の紹介)、ジャパニーズ・グラフィティⅧ～ウルトラ大行進!～、ラデツキ―行進曲を解説交えて演奏した。

○まとめ

演奏の前後に、曲の説明を入れ、プログラム中程で楽器について分かり易い説明をしてくれた。間近で楽器の音に包まれたひとときに参加者の皆さんも喜んでいただけた。

モッコの方は9時頃から来館し、まず会場準備を行った。客席の椅子並べは手伝ったが団員の方がどんどんすすめてくれた。会場は土足入場にした。

好天気だったので、床の汚れも少なくよかった。

スマートフォン入門講座

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 スマートフォンの基本的操作や防災対策を学ぶ。
- 期間 平成29年6月21日(水)
- 時間 午後1時30分～3時30分 (計2時間)
- 対象 市内在住又は在勤のスマートフォンを所持しないおおむね70歳くらいまでの方
- 定員 20人
申込み多数の場合は公開抽選
- 参加者 19人
- 講師 KDDI(株)ケータイ教室認定講師
- 事業内容 スマートフォンの基本操作及び防災対策について学ぶ。
- まとめ

募集対象を「おおむね70歳くらいまでの方」としたからか応募数が22人と少なめだった。公開抽選にみえた1人とサークル活動中の1人に立ち会ってもらい、20人を選出した。

当日、講師が1人来られなくなったということで、職員がお手伝いをした。講師の手慣れた説明がわかりやすく、参加者も熱心に操作していた。60代の人が多く、比較的スムーズに操作できていたようだった。

タブレット入門講座

〈 畑 中 公 民 館 〉

- 開 設 の 趣 旨 タブレットの基本的な使い方を学ぶ。
- 期 平成29年9月20日（水）
- 時 午後1時30分～3時30分（計2時間）
- 対 象 ・ 定 員 市内在住又は在勤でタブレットを所持しないおおむね70歳までの方・20人
- 参 加 者 15人
- 講 KDDI ケータイ教室認定講師
- 事 業 内 容 タブレットについての基本操作、インターネット、アプリの活用方法及び安全対策について学んだ。
- ま と め

KDDI 株式会社が社会貢献活動として行っているシニア向け安心・安全講座から講師を派遣してもらい実施した。対象者を「おおむね70歳まで」としたことからか、申込みが定員20人を割ったため抽選なしで全員参加となった。参加者の中でタブレットを持っている人は1人だったが、使い方がよくわからないとのことだった。ほかの方は持っていないので、ほとんど皆さん初めてのタブレット体験だったようだ。

タブレットの基礎知識や基本操作、災害対策サービスの紹介、アプリの利用方法などを学んだ。特に音声入力やカメラ機能を使った撮影など、自由に操作する時間には皆さん意欲的に取り組んでいた。

アンケートによると、受講の動機で「購入検討・予定のため」は2人のみだったが、終了後「今後、多分活用する・活用する」は11人だった。今回の講座でタブレットが身近になったのではないかと思う。

なお、当日の参加者が定員に達していなかったことから、急遽、サークル関係者に参加を促し15人で実施した。



ちよいそこ学級～熟年世代の楽しみ発見講座～

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 知識を高め、健康で楽しい生活が送れるよう学習の機会を提供し、高齢者の仲間づくり・楽しみの再発見を後押しする。
- 期間 平成29年10月5日～10月26日までの毎週木曜日（計4回）
- 時間 午前10時～正午（計8時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の50歳以上の方・25人
- 参加者 20人 参加延べ人数 49人
- 事業内容

回	月日	内容	講師
1	10月5日（木）	映像等を使い、市内観光スポットについて歴史を交え紹介し、郷土愛を深める。	市役所観光推進課職員
2	10月12日（木）	演劇全般について、様々な種類の舞台映像を見ながら、伝統芸能や演劇鑑賞の楽しみ方のノウハウを学ぶ。	十文字学園女子大学 人間生活学部 准教授 加藤 暁子
3	10月19日（木）	健康を保つための基礎体操を楽しく、無理なくできるよう実践し、同時に体操を通し、参加者のコミュニケーションを深める。	健康体操講師 中山 貴子
4	10月26日（木）	サラリーマン川柳が有名になった今日、本来の川柳を紹介し、実作をしながら川柳の魅力を探る。	全日本川柳協会 常任幹事 高鶴 礼子

○まとめ

今回は、誰もが楽しく参加しやすい講座内容を企画し、4回を通して、参加者は和気あいあいとした雰囲気の中、講座を終えることができた。

1回目は知られていない史跡なども紹介され、市内の再発見があった。2回目は観劇に出かけない人もわかりやすい解説を聞いて、劇場に足を運びたくなったと話していた。3回目はゲーム感覚で頭を鍛える運動法を取り入れ、無理なく楽しい時間を過ごせた。4回目は実作にて1人につき2作品を作り、講師に講評をしてもらった。全体としては、趣向が違うものを連続講座としているために、全回出席する参加者は少なく、今後、各回の講座を単独で実施することも考えなくてはならないと感じた。

歴史講座～赤穂浪士ゆかりの地を巡る～

〈畑中公民館〉

○開設の趣旨 赤穂浪士ゆかりの地を巡り、当時の時代背景や世相を考察する。

○期間 平成29年10月18日(水)、11月9日(木)(計2回)

○時間 午前10時～正午 11月9日は午前8時～午後5時

(計11時間)

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・25人

○参加者 25人 参加述べ人数47人

○講師 旅と歴史のプロナビゲーター 小林 祐一

○事業内容

回	月日	内容
1	10月18日(水)	赤穂浪士の史実を講義で学習し(事前学習)、事件の舞台となった地の知識を深める。
2	11月9日(木)	1回目の講義で学んだ赤穂浪士ゆかりの地を実際に訪ね、事件の検証をする。(館外学習)

○まとめ

今日語り継がれている忠臣蔵について、史実に基づいて一連の出来事を検証する学習をした。

1回目は館内にて講義形式で実施し、この事前学習を基に2回目の館外学習を実施した。講義の中で、講師が史実に基づいた話をすると、今まで皆が記憶している忠臣蔵の内容とはかなりの相違があるので、驚きの声が上がった。

2回目の館外学習では、旧江戸城松の廊下跡、本所吉良邸跡、回向院、泉岳寺、大石内蔵助切腹の地をバスで回った。吉良邸跡から泉岳寺までは浪士が実際に通ったルートにほぼ沿った道を走り、当時をしのぶ実習であった。

史跡を探訪する学習は受講生の心を引くものが多く、需要が多いことを改めて知った。